

JR 東日本と ANA は連携して MaaS に取り組みます

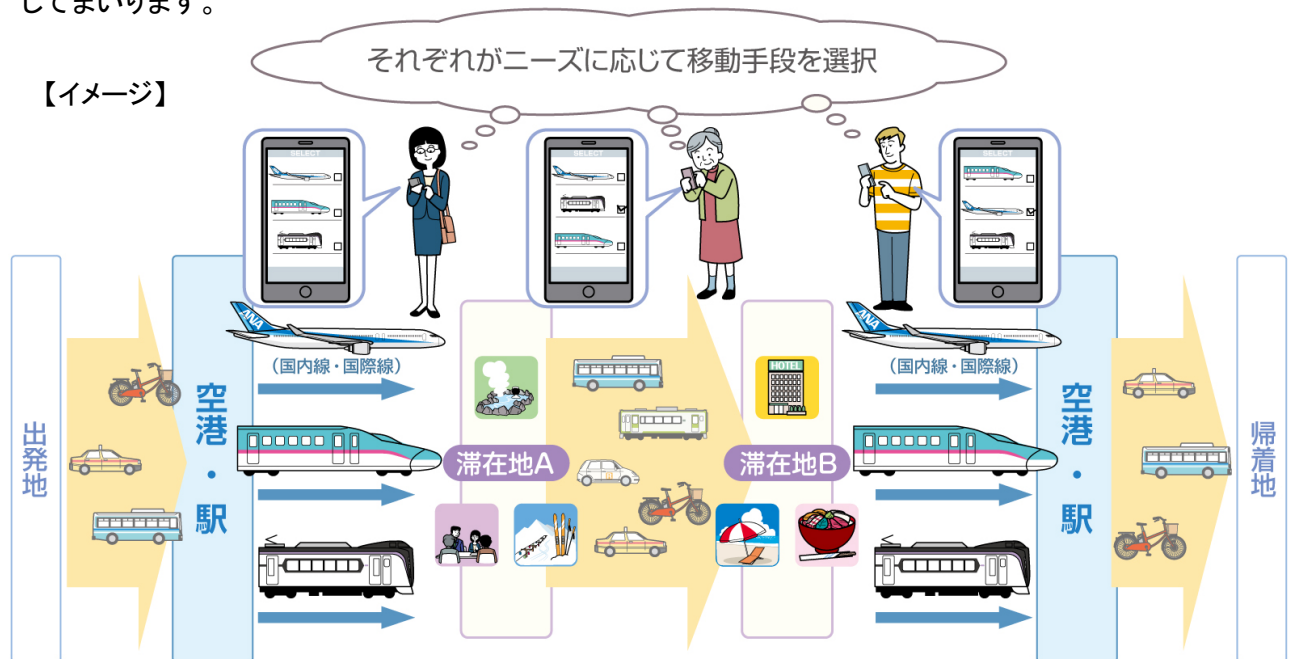
- 東日本旅客鉄道株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR東日本」)と全日本空輸株式会社(東京都港区、代表取締役社長:平子 裕志、以下「ANA」)は、昨今国内外で活発に行われている「MaaS(Mobility as a Service)」の展開、構築において連携していくことで合意いたしました。
- 両社は、2018年11月より観光流動拡大に向けた連携を開始し、地方への誘客推進の共同キャンペーンや訪日観光需要に対応したサービス展開、情報発信の強化などに取り組んでおります。このたび、お客さまにより利便性の高い移動体験をご提供することを目的として、MaaS分野でも連携強化を図ることいたしました。
- 今回の合意により、モバイル端末などのデジタルテクノロジーも活用しながら、検索・予約・決済などのさまざまな面で連携し、お客さまに「陸と空」が連携したサービスを検討してまいります。

【連携内容について】

旅行の計画段階から終了まで、さまざまな場面でのお客さまの利便性向上を目指して、陸と空の境界を越えて両社が連携して取り組んでまいります。

例えば、「鉄道と航空関係の情報がシームレスに受け取れる」「より簡単に鉄道のきっぷや航空券を購入できる」など、お客さまのニーズに応じたシームレスな移動サービスの実現に向け、多様な交通機関の皆さまとも連携しながら検討を進めてまいります。具体的なサービスは、決まり次第随時お知らせしてまいります。

【イメージ】



【JR 東日本】

これにより、お客さまが 24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせサービスを利用できる環境を実現します。



※リリース内の画像は <http://www.ana-press.com/2019-08-28/> からダウンロード可能です。(期限:2019 年 9 月 11 日 17:00 まで)